

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の老人会であったり、行事には参加しているが、施設に招いてのボランティアが少ない。	地域の方をボランティアとして受け入れる為の声かけ、関係作り。	健寿会の方や地域ボランティアの受け入れや声かけの発信。職員を通じてのボランティアの受け入れ。	12ヶ月
2	4,35	現在でも運営推進会議は定期的開催しており、多数の意見交換が出来ているが、より内容を深める為に専門的な知識の方を招いての意見交換を今後、取り入れていきたい。また、会議を通じて避難訓練の夜間想定を行い、地域を交えての避難訓練も検討する必要がある。	外部のオブザーバーに出席して頂き、専門的な分野の内容を勉強する。夜間想定での避難訓練を実施し、地域との連携を図る。	2月に夜間想定での消防訓練実施予定。運営推進会議において、消防の方などの専門分野の方を招く。	12ヶ月
3	26	介護計画を作成するに当たり、家族様が意見や思いを伝えやすいようにする工夫が必要である。	介護計画を作成するに当たり、職員、家族の思いがしっかりと組み込まれた内容にしていく。	ケアプラン変更時に家族の思いや意向を電話ではなく、面会時等に話し出来る場を作る。それにより、家族の思いを直接、聞くようにする。面会が出来ない場合は、専用の聞き取り用紙を用いて家族の意向をしっかりと聞く。	12ヶ月
4	33	一度、ホームとしてターミナルケアを実施したが、今後のターミナルに向けての研修、勉強会が必要であり、職員自身も心構えを身に付ける。	年1回の社内勉強会を実施。	平成23年度の勉強会でターミナルを見返るに当たっての基本的な勉強会を行う。	12ヶ月
5	52	現状、中庭が活用できておらず、中庭スペースを地域の方との交流の場であったり入居者、家族との憩いの場として空間作りを検討していく必要がある。	中庭スペースの活用方法を考えていく。	まずは、中庭に花を植えたり、書庫の移動、話しができる場を作る。雰囲気を変える。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。